

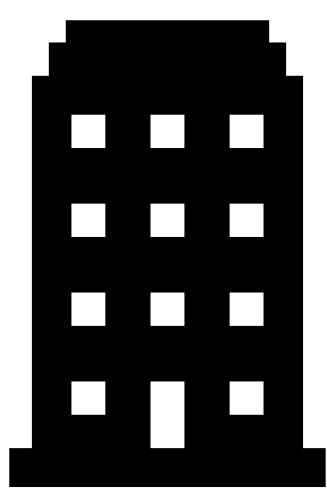


# 4. 【株式会社】について

株式の会社とは何なのか？

## 株式の使い道

株式会社



株主

配当



儲かったお金

事業拡大



17世紀に生まれたといわれる株式会社ですが現在ではあらゆる経済活動にとって、なくてはならない存在になっています。

【会社】というのは「利益を追求することを目的にし、人々が集まって作った集団、組織」ともいえるわけです。

ただ単に「お金儲けだけを考えること」という意味とは少し違います。

株式会社は、株式を発行し、より多くの人々からお金を集め、そのお金で世の中の人々に役立つようなモノやサービスを生み出していくのです。

儲かったお金は、報酬として出資した株主に対するお礼として「配当」という形で支払ったり、もっと良いモノやサービスを生み出すために機械を買ったり工場を作ったりするのに使ったりするのです。

こういった活動は止まる事なく続けられこれが本来、会社というものが世の中で果たすべき重要な役割だといえるのです。

## 「株主」と「会社経営」の関係について

株主は会社にお金を出資した人、一部のオーナーというわけなので、**会社の経営に参加する**ことができるのです。

しかし、会社の規模が大きくなり、お金を出してくれる株主の数も増えていくのでみんなの意見がまとまりません。

利益を追求するという会社本来の活動がスムーズに行かなくなる可能性もでてきます。

なので株式会社では、**役割分担**が決められているのです。

株主は会社の活動に直接参加するのではなく、株主たちによる大きな会議である**【株主総会】**で、会社の経営を任せある**【取締役】**という人たちを選ぶのです。

そして、この取締役の会議が、会社の代表者である**【代表取締役】**リーダーを選びます。

この代表取締役が、従業員を指揮・監督、管理して会社の運営、運用をするという仕組みになっています。

お金を出す**【株主】**経営を担当する**【取締役】**役割を分けることで、株式会社の活動が円滑に進むように工夫されているのです。



## 魔弾の結論



【株主】と【取締役】それぞれの役割を果たす

モノやサービス、仕組みを生み出す

世の中が豊かになっていく

